



ラカム

International School Japanese Section in Riyadh

リヤド日本人学校

学校便り 6月号

2014年(平成26年)6月1日

本校在籍児童生徒数(6月1日現在)小学部11名, 中学部1名 計12名

6月の生活目標 友達を大切にしている人がある!

三人寄れば文殊の知恵

校長 鈴木 薫

学校ではいま、生活科・総合の時間に、「石油ってなあに? What is 石油?」のテーマで、全校児童が調べ学習に取り組んでいる。先日そのグループ別発表があったが、その内容のすばらしさに、とても驚いた。そして、自分の知らないことの多さにも改めて気づかされた。「石油はどのようにしてできて、どこでとれるの」「石油にはどんな種類があって、どうやってつくられ、どこでつかわれるのか」「石油はどのくらいの量がつかわれていて、いくらなのか」について、それぞれのグループが発表した。

確かに内容的には、難しいこともあり、特に低学年の児童にとっては、大変な学習である。それでもみんな、一生懸命に取り組んでいる。なぜそれができるのか。やはり最も大きな理由は、学校生活全般において子供たちは、いつも一緒に生活していて、子供たちの関係が非常に強いものになっていることである。ひとり一人の性格や、考え方をよく理解し、お互いがそれを大切にしている。そして今、グループの中で、自分は何をしなくてはならないのかが分かり、それぞれが努力することができる事があげられる。

第二の理由は、少し手前味噌ではあるが、学習計画を適切にたて、全員で指導に取り組んでいる教員の姿勢にある。一年間を見通して、毎回やるべきことを子供たちにわかりやすく示し、子供たちのやる気を育てている。本当に熱心に取り組んでいて、頭が下がる。

そして、やはり力をあわせればよい結果がでるということである。分担をして、それぞれが調べること、やるべきことをはっきりさせ、責任を以て果たす、そのことが子供たちの力を育てている。もちろん、理解には差がある。「わかる範囲でいいんだよ」指導に当たる教員はひとり一人に目を配っている。この学習は、知識だけを増やそうとするものではない。いや、むしろ集団の活動を通して、学習の進め方、グループのまとめかた、調査、発表の仕方など学び方を学んでいるとあってよい。

この学習が12月の全校宿泊学習につながることは言うまでもない。学校の教材としては息の長いものである。全ての学年が力をあわせて取り組んでいるこの学習が、大きな成果をもたらすことを確信している。

ジッタに学ぶ子供たちとの WEB 交流

ジッタ日本人学校との WEB 交流を実施しました。本校の子供と、ジッタの子供たちが英語で、簡単なあいさつをしました。先生方も参加しました。短い交流でしたが、「お互い頑張っているな」と感じました。世界中に日本人学校があり、どの学校の子供たちも厳しい環境の中で頑張っている、改めてそんなことを思いました。

学校支援ボランティア募集

今年度も引き続き、学校支援ボランティアを募集しています。豊かな経験に基づいた話や技術趣味や得意な分野でのご支援をお願いいたします。ご連絡をお待ちしています。

6 月行事予定

・サウジアラビアの消防署ってどんなふうになっているのかな。

初めて、見学に行くことになりました。どんな仕事をどのようにしているのでしょうか。とても楽しみです。

日	曜	行 事	日	曜	行 事
1	日	全校集会	17	火	水泳教室⑧
2	月	発育測定②	18	水	
3	火	水泳教室⑥	19	木	
4	水		20	金	
5	木		21	土	
6	金		22	日	
7	土		23	月	
8	日	英語検定 1 次	24	火	水泳教室⑨
9	月		25	水	
10	火	水泳教室⑦	26	木	
11	水		27	金	
12	木	消防署見学	28	土	
13	金		29	日	
14	土		30	月	
15	日	全校集会、体験入学開始（～7月17日）			
16	月				

7 月の主な行事

- ・講演会（岡部氏） 2 日
- ・水泳記録会 1 5 日
- ・ボランティア先生のお話（山根氏） 1 7 日
- ・1 学期終業式 2 4 日